広報ほうじょう

町の人口
（平成2年10月31日）

男	3,887	(+ 6)
女	4,363	(+ 8)
計	8,240	(+14)
世帯数	2,768	(+ 4)

敬老会開催
踊りを楽しんだ一日

八幡町婦人会によるコーラス

九月十五日、敬老の日に敬老会を開催しました。

当日は雨天となりましたが、それでも町民体育館いっぱいにお年寄りが集まりました。

今年の敬老会の該当者は一、〇〇四名です。

式典の中で岩崎町長は、「明るく住みよい町づくりに努力する。身体に気をつけて過して欲しい。又来年もお逢いしたい」とあいさつ、続いて記念品贈呈が行われましたが主な受賞者は次のとおりです。

◉町長記念品

(1) 夫婦最高齢者
生原　福松（九十二歳）
生原キクエ（八十四歳）

(2) 最高齢者
栗田　ヨ子（九十九歳）

◉県知事記念品

(1) 七十七歳（喜寿）六十六名、代表、長野清一郎（長浦）

(2) 八十歳（傘寿）六十名
代表、西山喜市（八幡町）

(3) 八十八歳（米寿）十名
代表、池永孫四郎（中古門）

◉社会福祉協議会祝金、及び記念品

(1) 八十八歳（米寿）二十二名代表、伊藤秀雄（八幡町）

(2) 金婚式を迎えた夫婦
十七組、代表、岩平静雄
岩平トシ子（敬称略）

記念品贈呈の後、老人を代表して、石谷時次郎氏が式典開催に対する謝辞を述べ式典は終了し、続いて待ちに待った演芸が始まりました。

婦人会十四支部による舞踊が披露され、踊り子に拍手と、花が乱れ飛び楽しい一日を過ごしました。

とびうめ国体の大会旗・炬火町内をリレー

選手は、小・中学生、一般男女

十月十八日、第四十五回国民体育大会の炬火リレーが方城町内を通過しました。

町内のコース、及び中継場所は、職員区、中央公民館、方城町役場、中山商店前（浄万寺）です。

この日方城町役場前広場では、炬火の到着前に、町婦人会幹部二十数名による「とびうめ国体音頭、他」による踊りが行われ、式典をいっそう盛りあげました。

さて、いよいよ炬火の到着です。炬火は小、中学生の手によってリレーされたのですが、いったん、岩崎町長が炬火を受領し、点火台に灯火しました。

続いて選手に対し、激励の言葉が述べられ、交代した選手に炬火が点火されました。

約三百人の観衆に見送られ午前十一時五十五分、役場を出発しました。

方城町総合計画策定のための町民意識調査 協力のお願い

町民の皆様方には、日頃から町政の運営につきましては格別のご理解とご協力をいただき深く感謝いたしております。

このたび、本町ではこれからの（おおよそ一〇年後の将来のビジョンを想定した）町政の在り方を決める第二次方城町総合計画を策定することとなりました。

そこで、町民の皆様から日頃町政の在り方についてお考えになっていらっしゃることや町政に対するご希望などのお声をアンケート方式でお聴かせいただき、これを積極的に計画に反映していきたいと考えております。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、この調査にご協力いただきますよう心からお願いする次第です。

なお、この調査は、選挙人名簿に登載された皆様の中から無作為に七〇〇名抽出し、無記名で回答していただきますから、その他のことでご迷惑をおかけすることはございません。

各地区の駐在員さんを通してアンケート用紙を配布収集していただきますので、是非とも、町民意識調査にご協力くださいますようお願いします。

扶養親族等申告書は期限までに提出しましょう！

老齢または退職によって支給される年金には税金がかかります。

例えば、老齢厚生年金等ですが、このような課税対象となる年金の年金額（年額）が一〇五万円（年齢が六五歳以上のときは一七五万円）を超える人に対しては、毎年十一月初旬に、社会保険庁からパンフレットを同封した『扶養親族等申告書』の用紙（ハガキ）が送られてきます。この『扶養親族等申告書』を提出することによって、配偶者控除、扶養控除等の控除を受けることが出来るようになります。

平成三年中に、この控除を受けようとする方は、パンフレットをよく読んで、正確に記入し、十一月末日までに『扶養親族等申告書』を提出してください。

お互いの人権を尊重し、差別のない町づくりを

文化財シリーズ 2

矢熊の梵字と英彦山山伏

〈前号よりの続き〉

矢熊梵字を後にして、伊方川に添って上る。赤坂神社の東の坂を萩ケ原へ行く途中（旧倉石炭鉱跡）に、「我部童蔵」の石碑がある。

峯入には、古先達（経験者）先達（指揮者）、新客（初参加者）度衆によって集団をつくり、福智山頂をめざして行くのであるが、「忍耐して我今仏身となる」と自覚する行が過酷なまでに科せられていた。

入峯儀式の一つに業秤がある。これは法螺の紐で両手をしばり、身体を吊り下げ秤の形で呵嘖する。

又水断、穀断は断食修業であり、餓鬼畜生両道の修業も行われていたという。

この極めてきびしい儀式を行いつつ、移動して行くのであるが、この我部童蔵の処で、新客である一人の少年坊が倒れ、加持祈祷の効なく幼き命を全うしたという。

我部童蔵の石碑

地元の人々は、この少年坊の霊を慰めるために、小さなお堂を作り供養を続けたのである。

いつの頃からか、幼児の病気に良く効くといわれ、特に百日咳、夜泣き、夜尿症に霊験あらたかで、広く遠くの人にまで信仰されたと伝えられている。

大正三年の方城炭鉱大爆発によって、死者六八七名の犠牲者を出したが、この地で罹災者の処理、慰霊祭等が行われた。やがて多くの人々によって観音堂が建立された。

その後倉石炭鉱の関係者によって維持されたが、近年道路補修によって現在地に移され、昔の面影は全く失われたことは、誠に残念なことである。現在は少数の信者によって細々と霊を慰めている状態である。

畑観音堂

萩ケ原より北に向って二十分余りで畑観音堂に着く。

この地は、江戸初期開拓されたものであるが、それ以前に堂があり、地元の人々によって信仰されていた。

当時は、自然林の中に平地にもかかわらず湧水があった。（この自然林を僅かに残しているのが奥の赤坂畑神社である）

この観音堂の湧水は「霊験あらたかなり」といわれ、この水で顔や身体を清めれば、皮膚病に効くと伝えられていたが、いつの頃からか耳の病気が全快するといわれるようになった。地元の人々によって今でも受け継がれ、毎年祭りが行われている。

また僅かに当時の古井戸が残されているが昔の面影はない。

この畑観音堂より北進すること一時間余りで、漸く宿泊地であり最大の業の場である岩屋権現に着く（昭和四十六年福岡県文化財指定）

中世には、「元宮岩屋権現」といわれ、地元では、「弁城の宮」という。

境内には、岩清水が湧き大岩窟（四十メートル余りのものが二カ所ある）や大岩があり、当時神木といわれた大杉も残され行の場としての条件を備えている。自然がそのまま残っているのは、町内ではここだけである。

またこの地の梵字曼荼羅は、町史、P五八四にあるので省略する。

この地で一泊明けて、上野へと移動する。江戸中期以降になると一年毎に、上野泊、元宮泊とに分けられるようになる。

次号、町内三村の図作。

ゆとり創造月間

第19回 町民運動会

春田常会が優勝

九月十六日、第十九回町民運動会が二十九常会参加のもとに行われ、春田常会が優勝しました。

秋晴れの町民グランドでは、午前八時三〇分選手が集合、昨年優勝の春田常会より優勝旗の返還が行われ、大会会長、岩崎町長のあいさつ、永岡体協会長が競技上の注意等を説明し、いよいよ競技が開始されました。

競技は常会対抗と、オープン競技があり、一位から八位まで得点により集計されます。

親子ボーリング

対抗競技の九種目により熱戦が行われましたが、成績は次のとおりです。

（総合）
優　勝　春田常会
準優勝　野添〃
三　位　久六〃

（青年リレー）
優　勝　八幡町常会
準優勝　春田〃
三　位　中古門〃

（子ども対抗リレー）
優　勝　新門上〃
準優勝　湧渕〃
三　位　野添〃

（職域団体リレー）
優　勝　男　日立マクセル
　　女　青年女子バレー
準優勝　男　早朝ソフト
　　女　女子ソフト
三　位　男　体育協会
　　女　インディアカ

なお、今回は田川交通安全協会方城支部（会長　手島秋信）会員により車輌の整理、駐車等がスムースに行われました。

青年リレー

ガンバレ！常会役員

町立病院だより

町立病院利用の町民の方々には、日頃から狭い待合室と長い待ち時間などで大変ご迷惑をおかけいたしております。今年度は6月に内科・小児科の大屋先生が赴任され、従来の非常勤医師による診療に比してかなり充実した診療体制を提供できるようになりました。

現在、大屋先生に木曜日を除く毎日、内科小児科診療を、私が外科と消化器系の内科疾患を中心とした診療を、また嘱託の高田先生には主として木曜日の午前中、腰痛・関節痛などの慢性的な整形外科疾患などに対して、漢方・局部注射療法による診療をお願いしております。さらに金曜日の午前中は、九大放射線科の先生による人間ドックの胃腸透視・腹部エコー検査が行われています。従来、外来診療の合い間に実施していた胃腸透視・エコー検査を、金曜日に集中して効率的に実施することで、少ない待ち時間で多くの方が検査を受けられるように配慮しています。検査結果は、複数の医師がチェックして疾病の見逃しのないように努めていますので、一人でも多くの方が検査を受けていただき、疾病の早期発見ができますように希望します。

また、八月より健康教室の一環として、糖尿病教室が火曜日の午後に大屋先生により計一〇回にわたって実施され、日常の外来診療では不可能な糖尿病の詳しい基礎知識や食事療法の実際についての細かな説明が行われました。これからも糖尿病のほかに、いわゆる成人病と言われる高血圧、心臓病、高脂血症、肥満などテーマを決めて健康教室を実施して行きたいと思っていますので、患者さんだけでなく家族の方も積極的にご参加下さるようにお願いします。

さる十月より住民課の協力を得て週3回、町内循環のマイクロバス運行が実施され、従来交通の便の悪かった地区への便宜がはかられるようになり、町立病院利用の患者さんにも喜ばれているようです。これは従来、上弁城地区を対象に週一回運行されていた僻地循環バスを週3回に増やし、かつ町内全域を運行するようにしたものです。運行経路、時間等については、実際の利用状況と皆様の意見を参考にして今後改善してゆきたいと思っていますので、ご意見並びに皆様の積極的なご利用をお願いいたします。

現在、町立病院では平成3年度に向けて新病院建設の準備を進めています。しかし、これには町長はじめ町の財政当局、病院が一体となって努力しないと容易には建設の認可はおりない状況です。今後、いろいろな困難が予想されますが、町政の最重要課題として位置づけて取り組んで行かなければならないと思っています。病院建設問題への皆様の御理解と御関心をお願いすると同時に、一人でも多くの町民の方が町立病院を利用していただき、町立病院の必要性を住民自ら対外的に示していただくことが重要であると思います。

方城町立病院長
詫摩　衆三

チャリティー カラオケ大会開催

三十八名が熱唱!!

九月二十九日、西日本カラオケ連合協議会田川支部主催によるカラオケ大会が方城町福祉会館で行われました。

この大会には三十八名が出場、日頃鍛えたのどを披露し、盛大なうちに終了しました。

成績は次のとおりです。

優　勝　仲村久香（野添）
準優勝　村山アキ子
　　（湯場通り）
第三位　近藤智紗子
　　（湯場通り）

一日も早く新病院建設が成り、多くの町民の方に信頼される健康管理の中核となることを切望してやみません。

熱演賞　松本修治（平塚）
審査員特別賞
　貞野春文
　（広タクシー勤務）

その他歌唱賞等十名が入賞しました。

今年で二回目を迎えたこの大会ですが、会場に集った百数十名のカラオケファンの親ばくの和が、大会を通して広がったのではないかと思われます。

なお、この大会開催にあたり、地元商店、及び有志のかたがたから、たくさんの賞品、等が寄贈されました。

また、大会で集ったチャリティ募金、七千八百八十二円を福祉に役立てて欲しいと大会々長の久富専慶さんより方城町社会福祉協議会に贈呈されました。

後援　方城町教育委員会
〃　方城町商工会

お知らせ

へき地バス運行開始について

へき地バス運行は毎週木曜日でしたが、十月十八日より、別表のとおりの地区を経由して方城町立病院まで、通院患者の送迎業務を開始しています。

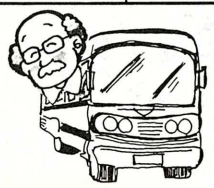
方城町立病院に通院されている方は、ご利用ください。

また、福祉会館へ行かれる方もご利用ください。

地区名	出発時間	病院着	病院発	福祉会館発
東古門公民館	8：40			
中古門公民館	8：43			
西古門木戸安次氏宅前	8：45	9：00		
野添公民館	8：50			
新町永末店前	9：02			
上弁城公民館	9：10	病院着		
野地公民館	9：12	9：40	11：00	
浄万寺公民館	9：15		及び	15：00
広谷公民館	9：20	福祉会館行	12：30	
長浦公民館	9：25	9：45		
見六公民館	9：30			
迫公民館	10：00			
二川田公民館	10：02			
職員区斉藤商店前	10：05	10：15		
福祉会館前	10：08			

※　毎週火・木・金曜日に運行します。

但し、祭日は運休します。



母子家庭等生活指導講座

田川郡母子寡婦福祉会が子供のしつけ、健康管理などについての講座を開きます。多数の参加を待っています。

☒対象　母子、父子家庭及び寡婦の皆さん

☒講師　福岡県精神保健センター　土橋三郎氏

☒内容　シンナー、覚醒剤等の乱用が心身に及ぼす影響について

☒とき　十二月九日（日）十時～十二時

☒ところ　金田町総合会館（平成鉄道金田駅裏　徒歩三分）

☒問合せ先　方城町母子寡婦福祉会々長　香月愛子　電話　二二一一三二六番

人権週間のお知らせ

十二月十四日から十日まで人権週間です。

人権週間は、国際連合が「世界人権宣言」を採択した十二月十日を記念して定められたもので、本年で人権週間も四十一回目を迎えました。

方城町では、次のように特設人権相談所が開設されます。

皆さんが毎日の生活をされている中で人権問題や、法律問題でお困りであればお気軽にご相談ください。

【特設人権相談所】

とき　十二月十三日

ところ　方城町福祉会館

相談担当者　法務局職員、人権擁護委員

広報ほうじょう（163号）
平成二年十一月十五日発行
編集発行　方城町役場　総務課
印刷　日光印刷